

この寿楽だよりは、当店の特別なお客様のみ限定してお送りしています。

生活雑学

有機野菜って何？

無農薬野菜と有機野菜は違う？ 実は違うのです。

無農薬栽培とは野菜を栽培している期間中、農薬を使用しないというものです。前年、その畑に農薬が使われていたかどうかは問いません。

有機栽培は、その畑で2年以上農薬を使用していないという決まりがあり、さらに栽培期間中の肥料は、たい肥のみの使用とされていますので、畑の残留農薬が非常に少なくなっていることが期待できます。

このほかに減農薬野菜というものもあります。それまでの50%減の農薬使用となっています。最近、市場で特別にうたってはいませんが、この方法で野菜が作られていることが多いようです。



割烹 寿楽 店主 甲斐田 功
仕出し (☎ 0957-53-6181)

2025年問題

「2025年問題」という言葉をご存知でしょうか。この年から、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療と介護の需要が膨れ上がります。しかし、病院や介護施設で看取ることができる数は限られているので、このままでは2030年に47万人の「死に場所」がなくなると予測されているのです。それだけに、安心して在宅療養ができる態勢を作ることは急務です。

紀の川市の坂口内科院長、坂口健太郎氏は20年前から地元で「生と死を語る会」を開催してきました。月1回、医療職、介護職だけでなく、お寺の住職や在宅看取りを経験した遺族なども参加しています。坂口医師は、「百歳近い高齢になっても具合が悪くなると入院させようとする家族や施設が少なくありません。昔はみんな家で死んでいました。今でも訪問看護と介護がしっかりしていれば家で問題なく看取ることができます。住民の意識が変わらなければ、医師も行政も意識は変わりません。」と言っています。

我々も根本的に意識を変えるべき時期に
来ていると言えるでしょう。

諫鼓(かんこ)

対馬市厳原町に万松院というお寺がある。対馬藩を治めた宗家の歴代藩主をまつっている。その本堂のわきに石造りの「諫鼓」が据えられていた。諫鼓とは、古代中国の天子が朝廷の門前に設けたという鼓のこと。自らの失政に苦しむ民があれば、この鼓を打ち鳴らして知らせてほしい。文字通り、為政者を諫めるための鼓であった。「諫鼓苔むす」と言う。善政が久しく続いたことを意味する言葉だ。領主をたたえ慕うのに、これほど誉れ高いものはないだろう。

期間限定料理

水無月ご膳



(1日10食限定)

1,500円＋税

力士はサッポロビールが大好き？

☆のマークが勝ち星につながる、という縁起かつぎなのです。☆のマークは、北海道開拓使の北極星の旗に由来しています。開拓長官黒田清隆は、麦とホップと氷が揃うことに着目し、札幌でビール事業を起こしました。そして国際レベルの美味しさを作り出せと命じます。日本は文明国だと欧米列強に主張し植民地化を防ぐためでした。明治10年、☆のマークの札幌麦酒が誕生し、函館では外国船員たちに大評判、ついに美味しさを認めさせたのです。

☆マークには、欧米列強に負けてなるかという明治のサムライたちの情熱が込められています。

負けないぞという想いは力士も一緒ですね。